

広報せとうち 1

令和2年
月号

絆で創る、魅力あふれる豊かな町づくり | みんなで早寝、早起き、ラジオ体操、朝ごはん!



まちの人口と世帯 | 住民基本台帳 令和2年11月末

人口 | 合計

8,816人(前月比:-7)

人口 | 男

4,335人(前月比:+1)

人口 | 女

4,481人(前月比:-8)

世帯数 | 合計

5,251世帯(前月比:-3)

今月の表紙 | コロナ収束を願い打ち上げられた悪疫退散花火(写真提供:岩元剛氏)

町民が幸せに安心して暮らせるまちへ

謹

んで新春のお慶びを申し上げます。

町民の皆様をはじめ全国各地でご活躍の皆様方におかれましては、心新たに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、昨年度は、町民誰一人として取り残されず幸せに輝き、いろいろながら夢と希望をもって、力強く生きていける持続可能な町を目指し、「人が輝く、夢と希望に満ちた、魅力あるシマ」を基本理念とした「第5次瀬戸内町長期振興計画」を作成しました。

計画は、「町民からの要望」「町民意識調査の結果」「SDGs」「未来」「社会情勢の変化」を指針として、今後10年間の瀬戸内町の進むべき方向と目指すべき目標を定め、

実現のための様々な取り組みをまとめたものです。

時はWithコロナという新たな時代に急激に変化しましたが、「瀬戸内創生マニフェスト」や「第5次瀬戸内町長期振興計画」を町民及び全国各地の皆様のご理解のもと、着実に実行していくことで次の時代を担う世代に自信と誇りを持って引き継ぐことのできる瀬戸内町になると確信しております。

全ての町民が幸せに安心して暮らせるまち、若者が希望を持って働きチャレンジできるまち、故郷を遠く離れ辛苦の中で日本の発展のために尽力さ

れてきた先輩や仲間たちが安心していつでも帰れるまちを作ることが私の使命です。

今後も町民・全国の郷友会・役場職員が一体となった、より強固な「チームせとうち」を作り上げ、皆様の声に耳を傾け心に寄り添いながら町政運営に全身全霊で取り組みますので、皆様方には、今後とも、より一層のお力添えを賜りますようお願いいたします。

結びに、新しい年が皆様方にとりまして、希望に満ちた幸多き年になりますよう心から祈念申し上げます、新年の挨拶といたします。



瀬戸内町長

鎌田 愛人

KAMADA Naruhito

21 謹賀

「町民全体の福祉の向上、町政の発展に全力で」

新

年明けましておめでとうございます。

町民の皆様をはじめ、全国各地でご活躍されておられます皆様方におかれましても、ご健勝で希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様方には、議会活動に対しまして日頃よりご支援ご協力を賜っておりますことに対しまして心から感謝申し上げます。

昨年11月に施行されました議会議員選挙は、前回の無投票から一転、定数10人に対し15人の立候補者が出馬しました。現職7人に加え、初の女性議員2人を含む新人3人が当選し、今後の議会のあり方について考えさせられた選挙でありました。

さて、昨年は、国内外で新型コロナウイルスが蔓延し、今も感染拡大の波が続いております。本町においても9例の感染が確認されましたが、その後の町民の皆様の徹底した感染防止対策の実践と

20 新年

医療従事者の皆様のご尽力により新たな感染は確認されていません。

しかし、まだ予断を許さない状況にあり、引き続き町民の皆様と共に万全な感染防止対策に取り組んでいきたいと思っております。

また、コロナ禍の影響により低迷している商工業、観光業、農林水産業等へのきめ細かな支援と育成強化を図り、町民の生活の安定化、更に新たな産業の創出、雇用の創出に取り組む必要があります。

更に、本町の振興発展の基となる「瀬戸内町長期振興計画」を確実に実行するためにも、私共議会といたしまして、町当局と一体となって取り組んで参ります。

私共議会は、Withコロナ社会に適合した議会運営

を行いながら、町行政の監視及び評価機能の充実強化を図ると共に、議員間の活発な議論により政策立案、提言のできる議会へと議会改革を進めていく必要があると思っております。

町当局と競い合い、そして協力し合いながら町民全体の福祉の向上及び町政の発展に議員一同全力で取り組み、「町民に信頼され品格と存在感のある新しい時代の議会」を目指したいと思っております。

どうぞ、本年も議会活動に対しまして、ご支援賜りますようお願い致します。むすびに、本年が皆様にとりまして、実り多い年でありますよう祈念申し上げます。新年の挨拶と致します。

瀬戸内町議会議長

向野 忍

KONO Shinobu



謹賀
新年

『物事ぬ知り果てや無む』の精神で教育風土の充実を

謹

んで新春のお慶びを申し上げます。

新春を迎えるにあたり、町民の一人お一人のご多幸と、子どもたちの健やかな成長を心から祈念いたします。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、東京オリンピック・パラリンピックや、「燃ゆる感動 かごしま国体・かごしま大会」等のビックイイベントをはじめ、本町主催の各種行事等も延期や中止を余儀なくされた年でありました。

学校行事においては、感染防止対策を講じた上で、規模を縮小しての開催等、子供たちの学びに対する影響を最小限に留める工夫を凝らしてまいりました。

さて、コロナ禍の影響もさることながら、グローバル化、多様化した変化が激しく将来の予想が困難な時代を見据え、新たな学習指導要領が全面实施され、これまで以上に「思考力・判断力・表現力」を身に付ける教育が今、求められているところでは、本町の教育

育行政の取組状況の概略についてご報告いたします。

学校教育の充実として、特に力を入れている学力向上対策については、「子どもが分かる授業」の確立に向け、指導主事二名体制の下、教師の更なる授業力向上を図り、「主体的・対話的で深い学び」の授業改善を行います。

また児童生徒一人一台の情報端末配布を含め、GIGAスクール構想の推進や学校給食センターの建設をはじめ、学校教育環境整備を充実させてまいります。

体育面では、恵まれた自然と地理的環境を活かし、「たくましく生きる瀬戸内っ子」の育成を実践してまいります。

文化面では、学習発表会・文化祭、中学校弁論・シヨートスピーチ大会も益々充実しているところであり、郷土教育の更なる充実を図ります。

社会教育では、未就学児における運動能力の向上、子ども会活動、生涯スポーツ、公民館講座

や自主グループによる学習の充実、文化財の保護・保存活動や近代遺跡調査、自然環境教育や体験活動、また読書推進事業にも取り組んでいきます。

教育委員会は、町民一人ひとりが、人間性豊かで、生き生きとした人生を送ることができるよう、「物事ぬ知り果てや無む」という精神で、教育風土の構築と充実を目指してまいります。町民の皆様におかれましては、新しい年が希望に輝き、幸多い年でありますことを心からご祈念申し上げます、年頭のごあいさつといたします。

瀬戸内町教育長

中村 洋康

NAKAMURA Hiroyasu



「島の子どもの笑顔を守れるような自衛官に」



笑顔が素敵な朝谷海哉さん

航空自衛官

あさたに
朝谷

かいや
海哉

新成人となった今後の抱負は、航空自衛隊で与えられた警戒管制員としての職務の知識をしっかりと蓄え、技能を磨き、立派な航空自衛官となることです。それに加えて、幼い頃からずっと大好きなバスケットボールで自衛隊

の度、成人しました瀬戸内町手安出身の朝谷海哉です。私は福岡県にある航空自衛隊春日基地で航空自衛官として勤務しています。現在、私は警戒管制という職務を担当しています。コロナ禍の今、私の勤務している航空自衛隊でも、新型コロナウイルス対策については、一般の方より厳重な態勢を敷いているように感じます。成人式が無くなってしまう、勿論寂しい思いもありますが、中止とすることで、より感染の可能性を軽減させられるので、良い決断だったのではないかと今は前向きに捉えています。



の度、成人しました瀬戸内町手安出身の朝谷海哉です。私は福岡県にある航空自衛隊春日基地で航空自衛官として勤務しています。



の全国大会に出場することが今の目標です。自衛隊では、陸・海・空合同の競技会があります。地元で鍛えていただいた先輩方にもいい報告ができるよう、職務に加え、バスケットボールの練習にも誠心誠意取り組んでいます。

私はこれまで20年間育ててくれた両親にとっても感謝しています。父と私は兄弟のような間柄で、一緒に遊びに行ったり、周りから見ても仲のいい親子だったように思います。母は、いざという時にとても力になってくれる存在でした。将来、父親のような優しい父になりたいと思っています。今後家庭を築く時には、自分の実家のような暖かく優しい家庭を築けたらいいなと思っています。これからは、島の子どもの笑顔を守れるような自衛官になれるように頑張ります。今後とも応援よろしくお願いします。

の全国大会に出場することが今の目標です。自衛隊では、陸・海・空合同の競技会があります。地元で鍛えていただいた先輩方にもいい報告ができるよう、職務に加え、バスケットボールの練習にも誠心誠意取り組んでいます。

「全国の舞台で活躍することが自分にできる恩返し」

福岡大学2年

みのる
実

れんま
錬真



友人との一コマ (写真左が実錬真さん)

コロナ禍の影響を受け、不安な気持ちも正直あります。ですが、今だからこそできることを私なりに考え、時間を無駄にしないよう、日々基礎トレーニングや学業の充実に勤しむ毎日を送っています。

昨年は、私自身団体戦のみの出場に留まりましたが、応援してくれた皆様の多大なお力添えをいただき、全試合勝ち星で終わることができました。しかし、今年の春頃からコロナ禍で、毎年行われる海外チームとの合同練習や合宿、試合等も中止となり、自分の実力を試す機会が失われてしまいました。コロナ禍の影響を受け、不安な気持ちも正直あります。ですが、今だからこそできることを私なりに考え、時間を無駄にしないよう、日々基礎トレーニングや学業の充実に勤しむ毎日を送っています。



の度、成人を迎えました瀬戸内町古仁屋出身の福岡大学スポーツ科学部スポーツ科学科2年、実錬真です。私は現在、柔道部に所属しており、全国上位入賞を目標に日々稽古に励んでいます。



試合の様子 (写真右)

高校時の悔しい思いを残りの大学2年間で晴らしたいと思っています。今年の冬は帰省することを諦め、自粛することにしましたので、また来年ひと回り強く大きくなって地元に戻りたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻よろしく申し上げます。

その中で地元の成人式中止の連絡を受け、中学卒業ぶりに再会する友人に会えないと思うと落胆する気持ちもありました。しかし、高齢者の多い瀬戸内町においては、感染予防として正しい判断だと思いました。私は中学卒業と共に島を離れることになりました。そのおかげで、家族や島の人たちの応援が今までの私の支えになっており、本当にありがたく思っています。今の自分にできる恩返しは、全国の舞台で活躍することだと思っています。新成人となった今年も、「全国上位入賞」の目標は変わりません。

その中で地元の成人式中止の連絡を受け、中学卒業ぶりに再会する友人に会えないと思うと落胆する気持ちもありました。しかし、高齢者の多い瀬戸内町においては、感染予防として正しい判断だと思いました。

2021年1月
254号



めばえ



～「一人ひとりを大切にする保育」とは?～

先日、かな保育園で「園内研修」の時間をもちました。「こどもの一人ひとりを大切にする保育」を目標に、職員間の共通ルールや保育実践の確認を行ったのです。「こどもの一人ひとりを大切にする保育」とは、具体的にはどのようなことを言うのでしょうか?

たとえば0歳児の「おむつ交換」。

「おむつ交換」は、こどもとおとなが1対1でかかわることのできるとても大切な場面です。保育者は、まずこどもの気持ちを「おむつ交換」に向けるため、必要な声かけをします。「おしっこが出ているからおむつを替えようね。」「気持ち悪かったね。きれいなおむつに取り換えてあげるね。」と。

おとなペースで黙々と機械的に「交換」するのではなく、おとなはこれから行う動作の一つ一つを、その行為の前に言葉がけします。そうすることで、こどもはいま、自分が何をしてもらっているのかを理解するようになり、おむつを交換してもらいと気持ちよくなると認識がもてるようになっていたり、じょじょに「おむつ交換」のときにこども自らおしりをあげてくれるようになっていたりするのです。

汚れたおむつをはずした後、「ちょっと待っててね。いま手を洗うからね。」と声をかけて手を洗い、きれいな手でおむつを替えてあげます。「将来お便所に行っておしっこをした後に手を洗うという習慣などは、このような経過をこどもが見るところから始まるのです。」

～参考書籍～

〈吉本 和子『乳児保育 一人ひとりが大切に育てられるために』エイデル研究所〉

今、感染症対策でも「手洗い」が重要です。この大事な習慣も、0歳児の「おむつ交換」の時から「一人ひとりを大切にする保育」を、体験しながら身につけていくことなのだと言われます。あらためて「保育」の奥深さを考えさせられています。

2月のご案内

古仁屋小学校です。



【担当】教育委員会 社会教育課 生涯学習係 岩永 由希子 ☎ 0997-72-2905